



## 平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エーアイティー

コード番号 9381 URL <http://www.ait-ip.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司

TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	5,069	△0.1	328	7.1	349	7.3	221	9.8
28年2月期第1四半期	5,073	△1.7	306	27.3	325	29.8	201	42.4

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 153百万円 (△23.8%) 28年2月期第1四半期 201百万円 (102.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	11.58	—
28年2月期第1四半期	10.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	6,285	4,608	73.1
28年2月期	6,368	4,741	74.2

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 4,594百万円 28年2月期 4,725百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,877	6.8	681	3.0	709	2.0	467	9.1	24.45
通期	23,130	9.4	1,594	4.2	1,644	2.8	1,100	5.5	57.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	19,754,400 株	28年2月期	19,754,400 株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	640,768 株	28年2月期	640,768 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	19,113,632 株	28年2月期1Q	19,113,632 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善の動きが継続して見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人の消費マインドはまだ力強さを欠く状況にあるとともに、株式市場の低迷や円相場の安定しない動きによる不安感、さらに中国をはじめとする海外経済の減速懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、国際貨物輸送・通関・配送、さらに国内外での3PL(サードパーティー・ロジスティクス)といった一貫輸送の提案型営業を推進し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大に努めてまいりました。

さらに、アパレルや日用雑貨を主に取扱う企業のみならず、化学品や自動車部品関連の企業への営業活動を精力的に行うとともに、北米航路の取扱高拡大にも注力してまいりました。

これらにより、前年同期と比較して国際貨物輸送の取扱高は堅調に増加したものの、総じて円高基調で推移したことで収益を押し下げることとなりましたが、販売費及び一般管理費の抑制等に取り組みながら、安定した利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は5,069百万円(前年同期比0.1%減)と前年同期とほぼ同水準となり、営業利益は328百万円(前年同期比7.1%増)、経常利益349百万円(前年同期比7.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益221百万円(前年同期比9.8%増)と前年同期を上回ることとなりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

## ①日本

当第1四半期連結累計期間では、一貫輸送の営業展開により、海上輸送での取扱コンテナ本数は、輸入で42,104TEU(前年同期比20.3%増)、輸出入合計で43,945TEU(前年同期比19.2%増)と前年同期を上回ることとなりました。

また、通関受注でも、新規顧客や既存顧客への営業強化が奏功し、受注件数は16,944件(前年同期比24.8%増)と堅調に推移いたしました。

その結果、円高基調で推移したこと等による収益の低下要因を取扱高の増加でカバーし、日本における営業収益は4,129百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は263百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

## ②中国

日本向け貨物は増加した一方で、円高基調による為替要因により、現地通貨の円貨換算額が減少した結果、営業収益は925百万円(前年同期比15.0%減)となりましたが、売上総利益率の好転と販売費及び一般管理費の抑制効果により、安定した利益の確保が図れたことで、セグメント利益は65百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

## ③タイ

日本向け貨物は回復傾向にありますが、その絶対量が少ないことと、円高基調による為替要因により、現地通貨の円貨換算額が減少した結果、営業収益は14百万円(前年同期比4.0%減)となり、さらに営業活動における費用が嵩んだことから、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となりました。

(注) TEU(Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算)とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し6,285百万円となりました。これは主に、立替金が32百万円、現金及び預金が30百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が11百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ50百万円増加し1,677百万円となりました。これは主に、買掛金が77百万円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し4,608百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益221百万円を計上した一方で、剰余金の配当により286百万円、為替換算調整勘定が65百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

##### (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,932,187	3,901,999
受取手形及び売掛金	1,302,194	1,313,250
立替金	667,102	635,085
その他	129,568	129,153
貸倒引当金	△14,435	△15,274
流動資産合計	6,016,617	5,964,214
固定資産		
有形固定資産	62,164	54,367
無形固定資産	77,880	69,623
投資その他の資産		
投資有価証券	5,707	5,047
差入保証金	195,262	187,954
その他	10,845	4,751
貸倒引当金	△12	△51
投資その他の資産合計	211,802	197,701
固定資産合計	351,847	321,692
資産合計	6,368,464	6,285,906
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	758,288	835,948
未払法人税等	220,414	122,619
賞与引当金	58,616	56,451
役員賞与引当金	13,300	4,549
その他	255,643	340,700
流動負債合計	1,306,262	1,360,268
固定負債		
退職給付に係る負債	214,402	211,051
役員退職慰労引当金	69,310	51,304
その他	36,806	54,788
固定負債合計	320,518	317,143
負債合計	1,626,781	1,677,412

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,004,705	3,939,384
自己株式	△67,928	△67,928
株主資本合計	4,429,507	4,364,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△479
為替換算調整勘定	296,394	231,134
その他の包括利益累計額合計	296,394	230,655
非支配株主持分	15,781	13,652
純資産合計	4,741,683	4,608,494
負債純資産合計	6,368,464	6,285,906

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
<b>営業収益</b>		
輸送事業収入	5,073,809	5,069,429
<b>営業収益合計</b>	<b>5,073,809</b>	<b>5,069,429</b>
<b>営業原価</b>		
輸送事業仕入	3,880,288	3,854,394
<b>営業原価合計</b>	<b>3,880,288</b>	<b>3,854,394</b>
<b>売上総利益</b>	<b>1,193,521</b>	<b>1,215,035</b>
販売費及び一般管理費	887,031	886,792
<b>営業利益</b>	<b>306,489</b>	<b>328,242</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	7,311	3,590
為替差益	9,043	11,924
その他	2,852	5,770
<b>営業外収益合計</b>	<b>19,206</b>	<b>21,285</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	95	19
<b>営業外費用合計</b>	<b>95</b>	<b>19</b>
<b>経常利益</b>	<b>325,600</b>	<b>349,509</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	713	42
<b>特別損失合計</b>	<b>713</b>	<b>42</b>
税金等調整前四半期純利益	324,886	349,467
法人税、住民税及び事業税	114,071	113,416
法人税等調整額	9,980	16,319
法人税等合計	124,051	129,736
四半期純利益	200,835	219,730
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△770	△1,652
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,605	221,382

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	200,835	219,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△484	△479
繰延ヘッジ損益	△133	-
為替換算調整勘定	1,211	△65,735
その他の包括利益合計	592	△66,215
四半期包括利益	201,428	153,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,049	155,644
非支配株主に係る四半期包括利益	△621	△2,128

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	3,970,502	1,087,818	15,488	5,073,809	—	5,073,809
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2,911	474,823	4,495	482,231	△482,231	—
計	3,973,413	1,562,642	19,984	5,556,040	△482,231	5,073,809
セグメント利益	247,234	58,952	301	306,489	—	306,489

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	4,129,488	925,065	14,875	5,069,429	—	5,069,429
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	25,470	456,200	5,615	487,286	△487,286	—
計	4,154,959	1,381,265	20,490	5,556,715	△487,286	5,069,429
セグメント利益又は損失(△)	263,610	65,417	△785	328,242	—	328,242

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。